

分科会の受講希望テーマ選択と 都市と交通に係る関心分野のアンケート協力をお願い

1. 分科会について

(1) 趣意

総合都市交通計画研修では、全受講者を対象とした講習に加えて、より詳細な内容の講習を行うことが有益と考えられるテーマをとりあげ、グループに分かれて比較的小人数で講義や事例紹介、議論などを行う「分科会」を開催いたします。

(2) 開催形式

分科会は、4つのグループに分かれて実施し、参加者の皆さんには、いずれか1つの分科会に参加していただきます。

(3) 分科会のテーマと概要

テーマ	分科会の概要と分科会に適した参加者
① 総合都市交通体系 調査の企画	<p>近年、総合都市交通体系調査を実施した都市圏の担当行政官を講師に招き、調査実施を決定した動機、経緯・手続き、問題や苦労話、反省点、企画された調査の特徴などについて紹介していただき、これをもとに質疑応答、意見交換を行う。</p> <p>今後、総合都市交通体系調査の実施を予定している、あるいは、実施を提案したいと考えている方に適した内容である。</p>
② P T調査データ・ 用語等の詳しい解説	<p>P T調査・P Tデータについては、実態調査で捕捉する内容、データ処理方法、用語など、通常の行政実務では触れることの少ない事項が多い。P T調査を実施したり、P Tデータを活用したりするにあたっては、これらについて十分に理解しておくことが、極めて重要である。</p> <p>当分科会は、P T調査初心者を中心に主な対象と想定し、講習では詳しく触れられないP T調査・P Tデータの基礎的事項や用語を詳しく解説する。</p>
③ 予測手法の わかりやすい解説	<p>従来から多くの都市圏で用いられている4段階推計法を中心に、予測手法をわかりやすく解説し、また、簡単な演習も予定している。交通需要予測手法に関して、ほとんど知識を持っていない方でも理解できるやさしい内容を予定している。</p> <p>このため、今回の分科会では、より高度な予測技術の習得については、対象としていない。</p>
④ 調査データの 有効活用方法の解説	<p>パーソントリップ調査データは、都市圏交通計画の策定の他にも、様々な形で有効に活用することができる。その活用の範囲は、交通施設の計画・評価にとどまらず、防災、環境なども含め多岐にわたる。本分科会は、パーソントリップ調査データの多様な活用方法を体系的に解説する。</p> <p>当分科会は、近年P T調査を実施し、今後データ活用を図っていくべき方や、データ活用のニーズが高い大都市圏の方にとって最も有益である。</p>

※裏面につづく

(4) 受講希望テーマと内容へのご要望について

参加者の皆さんには、事前に4つのテーマの中から受講されたいテーマをお伺いします。同封する「参加申込書」に、受講されたいテーマの第1、第2希望のご記入と、分科会等の内容へのご要望もお書き添えをお願いします。

なお、会場の関係等で、必ずしもご希望に添えない場合もございますので、お含みおきください。

2. 都市と交通に係る関心分野のアンケート協力について

グループ討議にあたって、都市と交通に係る分野について、最近関心があるテーマごとに集まっていただき、グループ討議を行う予定です。

同封する参加申込書に、以下の8つのテーマについて、ご自分で関心がある分野すべてにチェックをお願いいたします。

グループ討議をする際に、参考にさせていただきます。

- ① コンパクトシティ
- ② 駅まち（駅と駅周辺のまちづくり）
- ③ オールドニュータウン（郊外住宅団地）
- ④ 中山間地・移動困難者
- ⑤ 都心再生
- ⑥ 公共交通軸
- ⑦ デマンド型交通
- ⑧ 自動運転